

# 2019年度 事業報告書

2019年 1月 1日から 2019年 12月 31日まで

認定特定非営利活動法人 アジア教育友好協会

## 1 事業の概況

2019年度は、前年度繰越金66,951千円を引き継ぎ、事業を開始しました。事業資金は141,639千円となりました。

学校選定を慎重に進め、18校を建設（完成済は8校、10校は建設中）しました。2005年の事業開始以来15年間で累計304校となりました。今後とも新規事業への挑戦・事業基盤の強化を図りつつ、事業の継続に全力を尽す決意です。

昨年のラオスでのマイバンマセル中学建設（東京都荒川商業高校閉校に伴う）に続き、本年度は、バクザン省でキムソン小学校（大阪・柏原東高校閉校に伴う）を建設しました。閉校予定の高等学校の同窓会としての思いを引き継ぐ学校を建設したいという新しい理念での学校建設に挑戦しました。国際理解の橋渡し役として、学校建設事業を教育環境の総合的充実を図るプロジェクトとして推進します。こうした学校建設の推進により、村を纏める求心力・村発展への推進力も高まり、また村同士の融和も進みます。現地の人々と共に必要な支援を考え、自主自立を促し・見守り・共に歩むと言う「AEFAプロジェクト」が日本の海外での学校建設支援モデルになるよう、一層の努力を傾注して事業継続します。

交流事業は、日本の小中学校との国際交流を推進すると共に、出前授業を積極的に実施しています。今年度は36回実施し、累計は740回となりました。東京都教育委員会からAEFAの出前授業に教育委員会後援が許可され、AEFA出前授業への信頼性が一層強化されました。

2019年度も支援者の参加意識（現場への参加や成果の実感）の深化に努めました。その結果、学校建設だけでなく教育の質的向上支援事業や交流事業への資金支援も増加しています。

国際理解教育支援と出前授業が定着し、子供達からの支援も継続しています。国際支援はともすると一方的支援になる恐れがありますが、AEFAの場合は国際支援の双方向性が特徴となっています。

AEFA事業推進に重要である現場主義の徹底を図っています。理事・スタッフ・顧問の現地出張は17回（理事長5回・事務局長5回・田中3回・理事/顧問4回）となりました。また、AEFAボランティアによる現地出張視察も増加し、彼等の協力も得つつ、9校の開校式を実施しました。

尚、会員数は個人会員150名、法人会員11社、会費収入は昨年比230千円増の1,895千円になりました。今後とも会員の維持拡大に努めると共に、ボランティア、AEFAサポーターの輪を広げる努力を続けて参ります。

## 2 事業の成果

### 1) 学校建設事業について：事業費＝建設費/106,994千円＋活動費/8,580千円＝115,574千円

本年度も継続支援者や新規支援者から多額の支援を受け18校を建設。国別では、ラオス7校、ベトナム10校、タイ1校、となりました。

AEFAの活動理念を理解し、共感する支援者が増加するに伴い、ソフト事業の維持継続もできました。ベトナムでの奨学金や、冬服支援を通してものを大事にする心を醸成するプロジェクトは、ドンズー日本語学校との協働事業です。また、ラオスでの職業訓練校へ通うための奨学金の継続に加え、子供の権利保護プロジェクト、山間部の小学校のバス旅行も実施しました。

建設事業は2019年度も順調に進展し、結果として累計ではベトナム172校、ラオス107校、タイ15校スリランカ6校、中国2校、ネパール2校、の総合計304校となりました。

AEFAとしては、これら既建設校のフォロー事業が次なる課題となってきます。

\*2019年度建設校一覧・・・別表

### 2) 国際交流事業について：事業費＝交流費/6,975千円＋活動費/4,352千円＝11,327千円

本年度の出前授業実施は36回となりました。子供たちの交流だけでなく、出前授業には保護者が参観するケースも増えました。

- ① 本年度も交流事業や出前授業は充実しました。東京都教育委員会後援が許可され、リピーター以外の学校からの新規問い合わせも増え、都内での出前授業は28回となりました。首都圏（千葉・神奈川・埼玉）での出前授業も積極的に推進し、福井県・徳島県など地方でも継続実施しました。合計36回、累計では740回となりました。特に交流に熱心な現役教師との出会いは「熱血教師の会」結成への足掛かりとなる一方、教師以外の新規の講師候補者も出始めています。今後はこれらの教師・教師OBとともに国際理解教育の推進や交流事業の進化を図ります。
- ② 出前授業の講師団の強化も図っています。交流校の校長OB2名が講師となって、積極的に授業を実施しています。教師プロとして授業内容の進化・充実も図られました。
- ③ ベトナム・ドンズー日本語学校の日本への留学生と共同で、ベトナムでの既建設校のフォロー事業の実施、ソフト支援や交流事業の拡大・進化を推進しています。

### 3) 広報活動について

今年度も広報活動を積極的に進め、AEFA会報は27号・28号を発行しました。広報活動の一環として民間団体の研究会や退職女性校長連絡会などで、講演を5回実施。NHKのテレビ番組「人生レシピ」で紹介されました。また海外子女教育振興財団の機関紙に掲載されるなどをきっかけに、新規の寄付獲得にも繋がりました。今後ともAEFAの発信力を強化し、支援者獲得に努めたいと思います。

### 3 事業の実施に関する事項

当期収入額 141,639千円＝一般寄付他139,712＋会員会費1,895＋他32  
 当期支出額 134,473千円＝建設事業費115,729＋交流事業費11,172＋管理費7,532  
 当期事業収支 7,166千円・・・(期末正味資産＝74,117千円)

#### <対事業支出額内訳>

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額 (単位：千円)
建設事業	① <学校建設> ベトナム・ラオス・タイの山岳地域の学校建設及びメンテ ② <地域自立支援> 学校建設地域の学校維持を主旨とした生活力向上の為の支援 ③ <奨学金及び教師育成事業> 奨学金事業及び研修会など	2019. 1. 1～ 12. 31	3カ国 18校	4名	地域の住民及び子供生徒数： 1校平均150名程度 合計 約2000名  地域活性化策として 農業支援・村の集会所 建設などの支援  教師数：80名 奨学金：短大生10名 小中生50名	115,574
交流事業	①現地建設校と日本の学校との教育関係者同志の交流、児童の作品交換などを通じての姉妹校提携推進 ②出前授業：東京都28回、地方8回。計36回(累計740回)	2019. 1. 1～ 12. 31	4カ国 60校 (日本30校) (海外30校)	4名	現地1校当り 約100～150名 ベトナム・ラオス タイ・スリランカ 日本1校当り 約40～100名 合計：約2,000名  各回：約40～120名 合計：約2,000名	11,327

\*2019年度建設校一覧・別表

	国名	地域	学校名	支援者（敬称略）
1	ベトナム	トゥエンクアン省	ナンリー小学校	株式会社ディアーズ・ブレイン 沖縄ワタベウエディング株式会社
2			ゴイカイ分校	株式会社カナオカ
3			デオムン分校	大野 美之
4			アンラック分校 スアンバン本校 レインボーライブラリー	一般社団法人 ゼブラ社会貢献支援協会
5			カンバオ分校	エルセラーン1%クラブ
6			バンバン分校	エルセラーン1%クラブ
7			モニュー分校	水野 恵子、西澤 順子
8		バクザン省	キムソン分校	大阪府立柏原東高等学校同窓会
9			イエンニン分校	一家 恵理
10		クアンナム省	グエンチーミンカイ小学校	アセアンスマイルスクールプロジェクト
11	ラオス	サラワン県	ララ小学校	WANG基金 藤原和博 株式会社にしのあきひろ
12			ハーコーナム中学校増設 寮	川邊 恵美
13			ナコック小学校	小川 栄二
14			カトゥア中学校増設	石塚 勝巳、匿名希望
15		チャンパサック県	プーバチアン中学校	エルセラーン1%クラブ
16			ピエンサイ小学校	エルセラーン1%クラブ
17			ファイルーシ小学校増設	WANG基金 藤原和博
18	タイ	チェンマイ県	メーパン小学校	チュラコス株式会社

別表-2 2019年度 その他の支援一覧：

ベトナム：

- 1.青葉奨学金
- 2.暖かい冬プロジェクト（冬服支援及び管理）
- 3.ナンリー小学校（サッカーコート）

支援者（敬称略）

銀河ネットワーク、大野美之、柴田稔久、中村洋子ほか  
昭和小学校、昭和こども園  
株式会社ディアーズ・ブレイン、沖縄ワタベウエディング株式会社

ラオス：

- 4.グリーンスクールプロジェクト（環境啓蒙活動）
- 5.フアイラ中学校（プレイコート）
- 6.ノンケー中高校（トイレ）
- 7.チャンヌア小学校（水タンク）
- 8.台風洪水緊急支援
- 9.学校へのPC支援
- 10.クムーン小学校（牛銀行）
- 11.ミニ黒板（もったいないプロジェクト）

セカンド・オピニオン株式会社、トレノケート株式会社  
菊地達樹  
株式会社Drapocket  
武蔵村山市第一小・第八小・第十小  
浅田一憲ほか一般寄附  
山田浩司  
一家恵理  
株式会社東京黒板製作所、日本理化学工業ほか一般寄附

タイ：

- 12.農業支援プロジェクト（チェンマイ県オムゴイ郡  
農家の若者のネットワーク構築とプロジェクト支援）
- 13.ファイパククッ小学校（水浄化システム）

一般寄附  
株式会社近江兄弟社

以上のほかにも、学校からの募金等寄附、かんき出版、ゼブラ株式会社等、多くの方々から多様な形で、ご支援いただきました。